

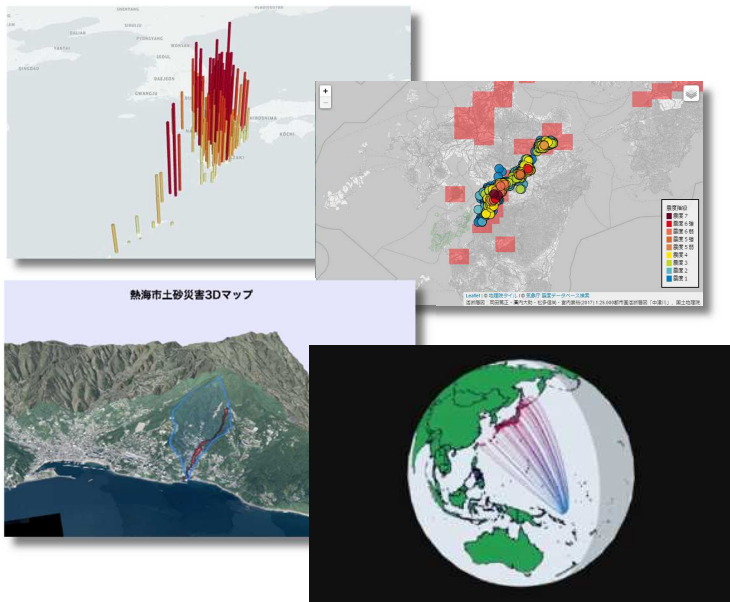
## DP Note - 防災に関する考察ブログサービス -

齋藤 仁志

キーワード

防災、2D・3Dマップ、GL、防災図解、防災教育

【日本の災害の現状】地震、台風、津波、土砂災害など、あらゆる災害が起きており、災害大国となっている。これに対し、人々の防災に対する認識は**正常性バイアス**がかかりやすく、大切と分かっているにもかかわらず現実である。ただ、子ども達のプログラミングが必修化されたこともあり、ITに関する関心は高い。このサービスは、**災害データを統計的に可視化することで、少しでも防災に関心を持ってもらう人を増やす取り組み**である。



## 【災害データの可視化】

気象庁や国土地理院の災害データを使用し、2D・3DマップやGLによるグラフィックでの可視化に挑戦した。

西日本集中豪雨での局所的な降雨量や熊本地震の群発地震の様子、熱海市の土砂災害発生場所、トンガ火山噴火による日本列島の潮位変化など、災害の種類に捉われることなく、可視化できた。次世代に伝えていくために統計的に描写できた意味合いは大きいといえる。

## 【防災図解による情報発信】

防災と聞くと、難しそう等のネガティブなイメージを持たれる方が多い。分かりやすく伝えるため、図解による情報発信を行った。

## 【効果】

私のメインな発信媒体はTwitterである。アクセス解析を試みたところ、通常のツイートよりも6~7倍の拡散率となった。特に日本全国ダムマップは90,000インプレッションを超える驚異的な伸び率となり、関心の高さが伺えた。

## 【今後の課題】

- ・ **変換ツールの開発**...災害データ(CSVやPDFなど)のあらゆるデータ加工を容易にするため。
- ・ **オープンデータ化**...他のエンジニアにも利用してもらい、新しい防災サービスの価値提供をする。
- ・ **実績を増やす**...公開して1年のサービス。より認知度を上げるため、実績を増やす必要がある。

